

【愛の友協会後援会長賞】

しろた　　ゆきこ
城田　　由希子

父さん、母さん、仲良くしてる？

一緒に暮らした家は見ての通り、取り壊して今はすっかり更地になった。

10年前に母さんが亡くなって少しは片付けたけど、父さんが母さんの物が捨てられるのを見るのは忍びないと言い出したんだ。それで片づけは中断した。

父さんも7年前に亡くなって、空き家になった家は加速度的に古くなった。

ようやく思い出が沢山つまった家の片付けに、気合を入れて取りかかった。

時間もかかるし体力もいる。でもね。精神的にきつかったよ。

母さんが嫁いだときに持ってきた着物も見つけた。一度も袖を通していないよね？

しつけ糸がついたままだったから。染みもなくきれいな生地に、ほっとするやら悲しいやら。

アルバム、家計簿、日記、手紙、手帳。どれも2人が生きてきた証の品々。

読みだして気がつけば数時間たっていることもあった。

迷いながら衣類も雑貨もゴミ袋に入れたよ。1人で決心するのはとても心細かった。

残してほしかった物もあったと思う。我が家は狭いから捨てないと仕方ないのだけれども。

なんだかひどいことをしているみたいで辛かった。親孝行もできなかったのに、

最後にこんな親不孝をするなんて。ごめんなさい。そう何度も思っては手が止まった。

先日、ラジオで故人の思い出話をするのが、いちばんの供養になるって言ってた。

だから最近は、息子たちと折に触れ2人のことを思い出してる。

今までありがとう。これからもずっと見守っていてね。

(奈良県／55歳／女性／主婦)

父や母へ詫びる想い、これからずっと忘れずに生きていきたいという想いで書きました。